地域・コミュニティ活動助成

# NPO法人 龍ケ崎の価値ある建造物を 保存する市民の会

茨城県龍ケ崎市

地域の宝、歴史的建造物である「竹内農場西洋館」の 保存に向けた手づくり冊子の作成活動



2019年8月、竹内農場西洋館の内部調査の様子。左は20年3月に完成した冊子

## 団体設立経緯

明治・大正・昭和初期に建てら れた店舗や倉庫、煉瓦建造物など がかつてない速さで壊され、まち の魅力が失われつつあります。そう した危機感から、龍ケ崎市内に現 存している価値ある建造物を残そう と、龍ケ崎市商工会支援の下で任 意団体を立ちあげ、文化財などの 発掘調査や歴史的建造物の活用、 関連イベントの開催、情報発信を 手がけています。2006年の赤レン ガ門・塀移築事業を機にNPO法人 に組織替えしました。

## 活動概要と活動対象範囲

歴史的建造物である竹内農場西 洋館(竹内明太郎別荘)の冊子を編 集・発刊しました。内容は建造物と しての西洋館にとどまらず、背景と なっている農場の歴史や、農場を運 営した竹内明太郎及び竹内鉱業に ついても関連事項としてまとめまし た。

その調査のため、活動範囲は龍 ケ崎市内にとどまらず、竹内明太郎 ゆかりの高知県宿毛市や石川県小 松市、明治中期から大正にかけて 竹内綱・明太郎父子が運営した炭 鉱がある茨城県北茨城市と広範囲 に及びました。また冊子発刊を告 知するためのイベントや広報活動も 展開しました。

#### 活動に至った理由や背景

龍ケ崎市蛇沼畔近くの赤レンガ 西洋館は居住者が不在となり、約 70年間藪に包まれていたため、市 民の間では謎の存在となっていまし た。2015年の暮れ、敷地の所有 者が太陽光発電業者に変わり、一 時は解体の危機と思われましたが、 市の調査が進むうちに、文化財、 史跡として価値が高い建造物であ ることが判明しました。



とはいえこの西洋館に関する情報 は極めて少なく、市民に正しい情報 を伝え、保存推進の役割となるよ う冊子制作に至りました。

#### 活動内容と成果

## ●冊子制作の流れ

2019年4月2日 冊子委員会がス タートしました。当会の理事長が委 員長を務め、会員の中から7名が参 加し、冊子のページ構成と担当箇 所を決めました。龍ケ崎市教育委 員会の文化・生涯学習課に協力を 仰ぐことと、西洋館のレンガの産地 である上敷免(深谷市)製レンガにつ いての執筆を深谷市教育委員会に依 頼することを決めました。

以後、毎月第1火曜日に冊子委員 会を開催し、進捗状況を話し合いま した。

5月24日 竹内明太郎の足跡を調 べるために、石川県小松市のコマ ツ粟津工場とコマツ創立の地「こま つの社」を訪問しました。竹内明太 郎は大正6年、小松鉄工所(現コマ ツ)を創業しています。

5月26日 コマツ創業の地であり、 竹内明太郎が運営した遊泉寺銅山









調査活動の記録 (左上) 19年5月、竹内明太郎が創業した現コマツを訪問・調査 (右上)小松市内に ある遊泉寺銅山の遺構 (左下)竹内明太郎の生誕地、高知県宿毛市にある記念碑 (右下)20年1月、 茨城無煙炭鉱遺構の調査

跡(小松市)を視察しました。

6月12~15日 竹内明太郎の生 誕地高知県宿毛市を訪ね、まち歩 き。宿毛市立宿毛歴史館にて竹内 明太郎日記を調べました。

8月中 情報が乏しい茨城無煙炭鉱 (北茨城市) の資料を図書館にて探 し、大正時代の貴重な資料をコピー することができました。

8月7日 冊子制作のため、改めて 西洋館の細部を調査しました。

8月10日 (公益)東京都公園協会緑 と水の市民カレッジ事務局にて、造 園家の長岡安平と竹内明太郎の関 わりについて資料を調査しました。

8月19日 戦前から昭和27年まで 西洋館に住まわれた真中ハツさんと 対談しました。

10月21日 メールにて緑と水の市 民カレッジ事務局に、樹木表示の 調査依頼をしました。その回答が 同25日にありました。

11月5日 冊子委員会にて冊子の タイトルを暫定的に「竹内明太郎が 残したもの~龍ケ崎の赤レンガ西洋 館」と命名しました。「竹内明太郎」





毎月1回のペースで開催 した冊子委員会。コマ ツ粟津工場訪問の際に 入手した資料 (左の写 真)など、入念な現地調 査から得た情報を冊子 の内容に反映した







広報活動にも力を入れる(上)19年4月、市民活動セン ターのライブ放送に出演 (中)10月、流通経済大学 の学園祭に出展。パネル展示でアピール (下)12月、 市内のコミュニティセンターでフォーラムを開催

と「龍ケ崎」という2つのキーワード を絡めました。

12月3日 冊子委員会にて、冊子 を読みやすくするため、各項目のタ イトルのほか、サブタイトル及び冒 頭部にリード文を付けることに決め ました。そしてDTPソフトのAdobe InDesignによる本格的なレイアウ ト作業を開始しました。

2020年1月7日 冊子委員会で、 でき上がったところまでゲラ刷り し、レイアウトと内容を確認しまし た。情報が不十分な茨城無煙炭鉱 に関しては、後日現地調査すること にしました。大量の情報を冊子委 員会全員で確認しあうため、データ をPDF化しオンラインストレージの Microsoft OneDriveに入れ、共有 化を図りました。

1月20日 冊子委員有志4名で茨城 無煙炭鉱跡 (常磐炭鉱中郷鉱山跡 など)を視察し、地元の方からの聞 き取り調査を実施しました。

1月22日 庭園計画の進捗を調べ るために、日本地図センターつくば 事務所にて米軍撮影の航空写真を

受け取り、陸軍撮影の航空写真の プリント申請をしました。

1月28日 冊子委員会にて茨城無 煙炭鉱調査を踏まえての記事の確 認と、表紙デザイン及び全体のレイ アウトの確認をしました。またタイ トルを「竹内明太郎が残したもの ~龍ケ崎の赤レンガ西洋館 に確定 し、サブタイトルに「竹内農場西洋 館竣工100周年記念 | を付けること に決定しました。

2月4日 冊子委員会で、資料提供 とご指導いただいた教育委員会文 化・生涯学習課にゲラ刷りを提出す るため、詳細にチェックしました。 ゲラ刷りは後日渡しました。

2月6日 教育委員会文化·生涯学 習課を訪問し、間違いの指摘とア ドバイスをいただきました。

2月25日 最後の冊子委員会は、 項目ごとに内容を確認しました。後 日、メーリングリストとOneDriveを 活用し、冊子委員全員で最終校正 を行いました。また、冊子の紙質 についても話し合いました。

3月16日 校正が完了し、ラクスル

に6000部の印刷発注をしました。

3月26日 完成した冊子が到着し、 市内の公共施設に配置しました。 3月31日 冊子をウェブ用にPDF化

し、当会ホームページ (HP) よりダ ウンロードができるようにしました。

#### ●広報

2019年4月22日 龍ケ崎市市民活 動センターのライブ放送に出演し、 ハウジングアンドコミュニティ財団 (H&C財団)助成による冊子制作と その概要を告知しました。

10月19日 会の広報誌「ほぞん通 信 |第4号に、H&C財団助成による 冊子制作を大きく掲載しました。

2020年3月1日 冊子をアピールす るため、HPをリニューアルしました。 3月10日 教育委員会文化·生涯学 習課を通し、「りゅうほー」(市の広 報紙)4月上旬号への冊子刊行の 掲載を依頼しました。

3月25日 市役所で開催の定例記 者会見に参加し、新聞社などのマ スメディアに冊子刊行を告知しまし た。この模様は、4月9日朝日新聞 に大きく取り上げられました。

#### ●イベント

2019年10月26~27日 流通経 済大学つくばね祭(学園祭)に参加 し、パネル展示による竹内農場西 洋館の保存をアピールしました。ま た、12月に開催するフォーラムや制 作中の冊子の広報も行いました。

12月7日 教育委員会協力の下、 「第2回竹内農場西洋館フォーラム」 を長山コミュニティセンターで開催。 テーマは「龍ケ崎の赤レンガ西洋館 を考える」としました。参加者50名の 多くは市内在住の方で、遠くは蔵の まち川越や水戸からの参加もあり、 意見交換は大いに盛り上がりました。 2020年2月22~23日 市民活動 センター主催「りゅうがさき市民活 動フェア in サプラ」に参加し、「竹 内明太郎が残したもの~龍ケ崎の 赤レンガ西洋館」冊子刊行をアピー ルしました。

#### ●成果

H&C財団主催2019年5月25日開 催の「地域交流会 in 金沢 | 及び8月 31日お茶の水で開催の「経過報告 会 | 2つのイベントに参加し、様々 な団体と交流ができ、ネットワーク 構築の大きな成果となりました。ま た、冊子制作のため訪れたコマツ 粟津工場の皆様と当会は情報交換 ができる関係になりました。このこ とがきっかけとなり、10月3日コマ ツ粟津工場より工場長(執行役員) を筆頭に4名の方が竹内農場西洋 館視察のため龍ケ崎市を訪問され、 教育委員会と当会が案内しました。

龍ケ崎市は竹内農場西洋館を市 民遺産に認定するなど、保存に意 欲的です。市民遺産認定とほぼ同 時期に、当会が制作の竹内農場西 洋館竣工100周年記念冊子が刊行 となり、市の保存事業への大きな 後押しとなりました。

西洋館の素晴らしさを市民に伝え るという本来の成果はこれからです



完成した冊子は、市 内の公共施設で無 料配布されている。 今後は配布範囲を 広げていく予定

が、冊子刊行は当会の活動をアピー ルする大きな武器となりました。

#### ●協力団体

龍ケ崎市教育委員会文化・生涯学 習課:冊子制作のための資料提供 とアドバイスをいただきました。

龍ケ崎市商工会:(通年) 会の活動 の資金援助をしていただきました。 龍ケ崎市市民活動センター: 冊子 刊行のお手伝いほか、様々な活動

#### ●専門家

梁取忍(学芸員 龍ケ崎文化・生 涯学習課課長)

支援をしていただきました。

#### 課題と解決方策

西洋館の設計者が不明のまま冊 子を刊行しました。高知県の宿毛 歴史館に行って竹内明太郎日記を 調べましたが、分かりませんでした。 そのほかにも建築を請け負った太 田圓七とはいかなる人物だったの か? 庭園設計はどこまで進んでい たのか? 竹内農場西洋館は謎が多 い建造物です。

今後は、専門家のアドバイスを受 けながら、できるだけ正しい情報を

発信したいと思います。新たに解明 された事例につきましては、HPに て発信したいと思います。

建築学 (歴史的建造物)の先生に 当会刊行の冊子と西洋館の写真を 差し上げたところ、維持・管理の方 法や早急な修繕個所を指摘されま した。今後は先生を現地に案内し、 改めてアドバイスをいただく計画を 考えています。これには市の所管部 署(教育委員会文化・生涯学習課) にも加わっていただくように提案す る予定です。

#### 今後の予定

冊子の配布は、現状市内の公共 施設が中心ですが、今後は隣接す る市町村の公共施設でも配布がで きるように、交渉する予定です。竹 内農場西洋館竣工100周年記念イ ベント開催を計画し、教育員会主 催、当会共催の形で開催の提案を する予定です。

茨城無煙炭鉱を今回調査しまし たが、不明な部分が多かったため、 今後は地元の協力者を探し、時間 を掛けて調査したいと思います。

### 特定非営利活動法人 龍ケ崎の価値ある建造物を保存する市民の会

2002年10月設立、06年9月法人化/メンバー数:54人/代表者:前田 享史(まえだ・ きょうじ)

- ●〒301-0041 茨城県龍ケ崎市若柴町878-5
- **☎**080-6637-1950 **☑**info@maeda.main.jp
- **≡**tatemono-hozon.net
- fwww.facebook.com/ryugasaki.tatemonohozon/

龍ケ崎市内の歴史的建造物の調査と活用、関連イベントの開催や情報発信を通し て、これら建造物が愛されて残る豊かなまちづくりへの貢献を目指しています。

10 2019年度 住まいとコミュニティづくり活動助成